

【親鸞部門(中学)・奨励賞】

戦争のない世界

私立大谷中学校 第2学年 林実優

私が「平和」とは何かと聞かれたら、間違いなく、戦争のない世界と答えるだろう。実際、今の世の中は平和とは言えない。なぜなら、戦争を起こしている国は存在するし、核を保有している国や核実験をしている国もある。戦争を起こす事で、何も罪のない人々の大切な命を奪い、当たり前だった日常を一瞬で奪い去ってしまう。戦争をして、何を得ようというのだろうか。何か得るものがあるというのか。領土や地位や名誉、権力を得たいというのだろうか。得るものより失うものの方がはるかに多いはずだ。傷つけられた人や生きもの、建物、自然は、すぐには元に戻らない。そして何より見えない傷の方が深いのではないのかと私は思う。

私自身、戦争のない時代の日本に生まれ、今まで、そのような恐怖を味わうことなく過ごしてきた。しかし、現在、他国で大きな戦争が起こっており、ニュースでその光景を目の当たりにし、目を背けてしまうほどの悲惨さだった。

今日、この瞬間も世界のどこかでは戦争が起こり、誰かの涙が流れているかもしれない。その涙が無駄にならないよう、戦争は、いけないものだと改めて未来に発信していかなければならない。戦争を体験した人々は、いずれ、この世の中からいなくなってしまう。そのような時代がきたとしても、みんなの心に刻まれるように受け継いでいかなければならない。戦争のない世界であって欲しいと願い続けて。平和な世界の実現のために少しでも自分が役立つと信じて。